



第15回SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
国内コンペティション長編部門
ノミネート

カナザワ映画祭 2018
「期待の新人監督」
ノミネート

第5回新人監督映画祭
フォアキャスト部門
ノミネート

第10回日本芸術センター
映像グランプリ
ノミネート

門真国際映画祭 2018
長編映画部門
最優秀主演女優賞受賞

Kisssh-Kisssssss映画祭 2018
インディペンデント映画
コンペティション部門 ノミネート

Beyond the Blue.

あの群青の向こうへ

芋生悠 中山優輝 瀬戸かほ 斎藤友香莉
合アレン 田口由紀子 ひとみちゃん
大口彰子 フランキー岡村 鈴木ただし

監督・脚本・撮影・照明・編集・CG&VFX/廣賢一郎

助監督/山口昂太郎 横内有貴 斎藤友香莉

制作/伊藤慎介 塩見悠史 東拓馬

制作進行・照明助手/菰田尚音

録音・整音/杉本崇志 録音助手/深田絵理佳

メイク/長田静喜

メイキング・スチール/寺居直樹 かみやしんぺい

配給・宣伝/アルミード

主題歌/PETALSほか

2018/日本/カラー/16:9/ステレオ/89分
<https://gunjyo-film.amebaownd.com/>

大人と子供の中間地点
僕らは東京を目指した



-Story-

未来の自分自身から〈ブルーメール〉と呼ばれる手紙が届くようになった世界。青年カガリは些細なきっかけから家出少女のユキと出会い、2人は共に東京を目指すことになる。

大人と子供の間地点、僕らは東京を目指した

忘れられない痛みを背負った男女が、何かその先にあるものを信じて東京を目指す、というロードムービーである本作は数々のアーティストのMVなどを多く手掛ける廣賢一郎監督が21歳の夏に手掛けた作品である。彼の信頼する仲間たちと2017年の夏を駆け抜けるようにして撮影し、ようやく完成へと辿り着いた。第15回SKIPシティ国際Dシネマ映画祭では、全世界およそ98か国832作品の中から長編コンペティション部門にノミネートしたほか、国内数多くの映画祭において、受賞・入選を果たしている。

主演・ユキを演じるのは、CMや映画などで活躍する若手実力派の芋生悠。同じく、心に深い傷を負った青年カガリを演じるのは雑誌「Samurai ELO」の開催するコンテストで準グランプリに選ばれた中山優輝。また、数多くの媒体で幅広く活躍する人気モデル・女優の瀬戸かほをはじめ、数多くの実力派俳優たちが脇を固めている。

「きっと、大丈夫。」忘れられない痛みを背負った彼らが、そんな希望を感じる瞬間を、目撃してほしい。

芋生悠 中山優輝 瀬戸かほ 斎藤友香莉

合アレン 田口由紀子 ひとみちゃん

大口彰子 フランキー岡村 石上亮 鈴木ただし

監督・脚本・撮影・照明・編集・CG&VFX/廣賢一郎

助監督/山口昂太郎 横内有貴 斎藤友香莉

制作/伊藤慎介 塩見悠史 東拓馬

制作進行・照明助手/菰田尚音

録音・整音/杉本崇志 録音助手/深田絵理佳

メイク/長田静喜

メイキング・スチール/寺居直樹 かみやしんぺい

配給・宣伝/アルミード

主題歌/PETALSほか

2018/日本/カラー/16:9/ステレオ/89分

<https://gunjyo-film.amebaownd.com/>

どのような真理をもってしても愛するものを亡くした哀しみを癒すことはできないのだ。
どのような真理も、どのような誠実さも、どのような強さも、どのような優しさも、その
哀しみを癒すことはできないのだ。我々はその哀しみを哀しみ抜いて、そこから何かを学
びとることしかできないし、そしてその学びとった何かも、次にやってくる予期せぬ哀し
みに対しては何の役にも立たないのだ。 —村上春樹『ノルウェイの森』より

